

# Weekly エコノミスト・レター

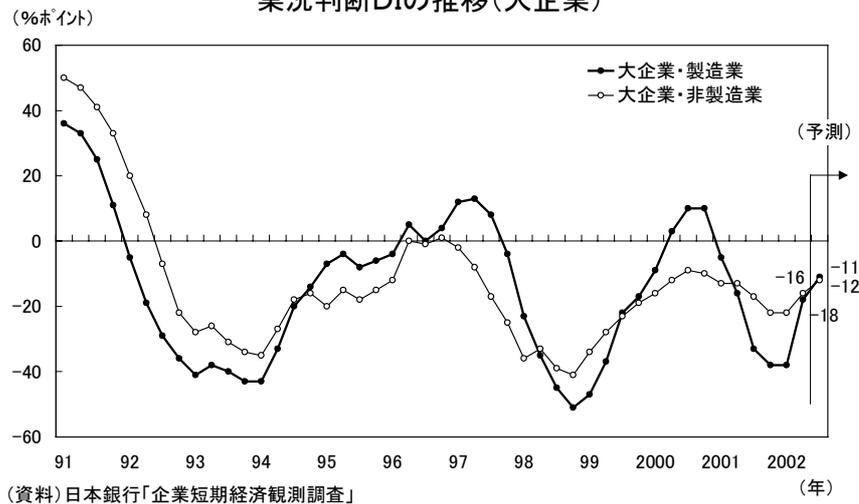
ニッセイ基礎研究所 経済調査部門

## 短観速報～景況感が大幅改善：景気底入れを確認

<今週の焦点> 景気底入れを確認 ～懸念される設備投資の弱さ

1. 大企業・製造業の業況判断 DI は 18 (3月調査 38) と大幅に改善し、先行きも 11 とさらに改善が見込まれている。大企業・非製造業の業況判断 DI も 16 (3月調査 22) と改善し、先行きも 12 と改善が見込まれており、景気底入れを確認するものとなった。
2. 2002年度設備投資計画は大企業・全産業で3月調査から 1.1%の下方修正となり、前年度比 6.7%となった。業況感の大幅改善にも関わらず大企業・製造業の設備投資が3月調査から 3.2%下方修正され 8.9%の減少となるなど、設備投資の弱さが懸念される。
3. 在庫判断、雇用判断、生産・営業設備判断、価格判断などの諸判断項目には改善が見られるが、中小企業を中心に依然として資金繰りの先行きに対する懸念が残っている。

業況判断DIの推移(大企業)



副主任研究員 齋藤 太郎(さいとう たろう) (03)3597-8416 tsaito@nli-research.co.jp  
チーフエコノミスト 樋 浩一(はじ こういち) (03)3597-8471 haji@nli-research.co.jp

ニッセイ基礎研究所 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-1-1 7F : (03)3597-8405  
ホームページアドレス : <http://www.nli-research.co.jp/>

## < 今週の焦点 > 6月短観～景況感大幅改善

### < 概要 > 景況感は大幅改善で景気底入れを確認～懸念される設備投資意欲の弱さ

今回の短観では大企業・製造業の業況判断が大幅改善となったことをはじめとして、製造業、非製造業とも、企業規模を問わず改善となり、景気の底入れを確認するものとなった。一方、大企業・製造業の大幅な業況感改善にもかかわらず、2002年度の設備投資計画は下方修正され8.9%の減少となり、企業の慎重な姿勢があらわとなった。

在庫判断、雇用判断、設備判断、価格判断などの諸判断項目にも改善が見られるが、中小企業を中心に依然として、資金繰りの先行きに対する懸念が残っている。

大企業・製造業の事業計画の前提となっている想定為替レートは、125.73円となり3月調査の124.21円から若干の円安修正となった。内閣府の企業行動に関するアンケート調査では、輸出企業の採算レートは115.3円であり、現在の120円程度の水準で企業収益の見込みや景気回復の動きに大きな支障があるとは考えられない。しかし、今後円高が更に進む場合や、米国の景気回復の動きが予想よりも緩慢である場合などには、輸出主導型の企業収益の改善や景気回復のシナリオが崩れる恐れがあるだろう。

### 業況判断 DI～大企業・製造業は大幅改善、非製造業でも改善

大企業・製造業の業況判断 DI は 18 と前回 ( 38 ) 比で大幅改善となった。大企業・製造業の業況判断 DI は昨年3月調査以降悪化してきたが、最近の生産の増加を受けて、今回は大幅改善となった。また、在庫調整の進展を受けて、製商品在庫水準判断 DI も改善した。業況判断 DI の先行き ( 3 か月先 ) についても、 11 と更に改善が予測されている。大企業・非製造業も 16 と前回調査 ( 22 ) 比で改善した。先行きも 12 と改善が見込まれている。

個別業種毎にみると、大企業・製造業では IT 関連の輸出増加などから電気機械が 18 と前回 ( 59 ) から 41 ポイントの大幅改善となった。さらに先行きについても、 9 と 9 ポイントの改善が見込まれている。大企業・非製造業では小売が前回の 13 から 14 ポイント改善して 1 となったのをはじめとして、運輸で 12 ポイント、卸売が 8 ポイント改善した。リース業は前回調査比横這いとなったが、先行きは 11 ポイントの大幅な悪化を示しているのが注目される。

## 業況判断DI

(「良い」-「悪い」・%ポイント)

		2002年3月調査		2002年6月調査			
		最近	先行き	最近	先行き		変化幅
					変化幅	変化幅	
大企業	製造業	-38	-27	-18	20	-11	7
	非製造業	-22	-21	-16	6	-12	4
	全産業	-31	-24	-17	14	-11	6
中堅企業	製造業	-47	-38	-28	19	-21	7
	非製造業	-32	-31	-26	6	-23	3
	全産業	-37	-34	-27	10	-23	4
中小企業	製造業	-51	-51	-41	10	-35	6
	非製造業	-42	-46	-37	5	-38	-1
	全産業	-46	-49	-39	7	-37	2

(注)「最近」の変化幅は、前回調査の「最近」との対比。  
「先行き」の変化幅は、今回調査の「最近」との対比。

## 売上・利益、雇用

2002年度の売上計画では、製造業は輸出の上方修正を主因に上方修正となったが、非製造業の売上は大企業、中小企業が下方修正となり、全規模・全産業でも売上計画は若干の下方修正となった。一方、経常利益計画は、大企業・製造業が34.1%増と9.7%の上方修正となったことをはじめとして、全規模・全産業で16.1%増益となっており、2.8%の上方修正となった。

## 経常利益計画

(前年同期比・%)

		2001年度 (実績)		2002年度 (計画)					
		修正率	修正率	上期(計画)		下期(計画)			
				修正率	修正率	修正率	修正率		
大企業	製造業	-38.6	11.9	34.1	9.7	-3.7	-4.5	75.8	20.5
	素材業種	-27.6	11.5	10.7	12.5	-11.0	3.9	35.1	19.9
	加工業種	-44.1	12.1	49.6	8.4	1.2	-8.8	2.0倍	20.7
	非製造業	-7.9	2.0	7.9	-1.8	-2.7	-11.0	18.7	7.5
中堅企業	製造業	-35.6	17.2	17.1	4.6	6.9	-13.3	22.9	16.5
	非製造業	0.4	12.9	8.3	3.3	-2.8	-1.6	17.1	6.9
中小企業	製造業	-46.2	4.5	47.9	-2.4	41.4	-11.7	51.4	3.2
	非製造業	-4.4	9.5	8.8	1.4	6.9	0.4	10.2	2.2
全規模	全産業	-19.6	8.5	16.1	2.8	0.2	-6.4	30.2	10.1

(注)修正率は、前回調査との対比。

雇用判断DIは全規模・全産業で18(前回20)と前回に続いてわずかだが改善となり、先行きについても、14と改善の見通しとなっている。全規模・全産業の雇用者数は前回調査0.5%に続いて0.2%の減少となったが、中堅企業では2.8%の増加となった。

## 設備投資

全規模・製造業の生産・営業用設備判断DI(「過剰」-「不足」)は3月調査の31から27へと改善し、先行きについても23と改善の見込みとなっている。全規模・非製造業の判断は横這いと

なったが、先行きは改善しており、全規模・全産業でも設備判断の改善が続く見通しとなっている。

2002年度の設備投資計画(ソフトウェアを除く)は、大企業・製造業で8.9%(3月調査8.4%)の減少となった。大企業・製造業の業況判断が大きく改善しているにも関わらず、設備投資計画は下方修正となったことや、リース業の業況の先行きが悪化していることなど、今後も企業の設備投資は引き続き弱い動きとなることを示唆するものと考えられる。

### 設備投資計画

		(前年比・%)			
		2001年度 (実績)		2002年度 (計画)	
		修正率		修正率	
大企業	製造業	-9.2	-2.7	-8.9	-3.2
	非製造業	-8.6	-3.1	-5.2	0.3
	全産業	-8.9	-3.0	-6.7	-1.1
中小企業	製造業	-14.7	0.8	-17.4	10.7
	非製造業	-0.4	4.3	-6.7	12.3
	全産業	-4.3	3.4	-9.3	11.9
全規模	製造業	-10.5	-1.2	-11.1	-0.2
	非製造業	-4.2	-0.1	-3.0	3.1
	全産業	-5.9	-0.4	-5.1	2.3

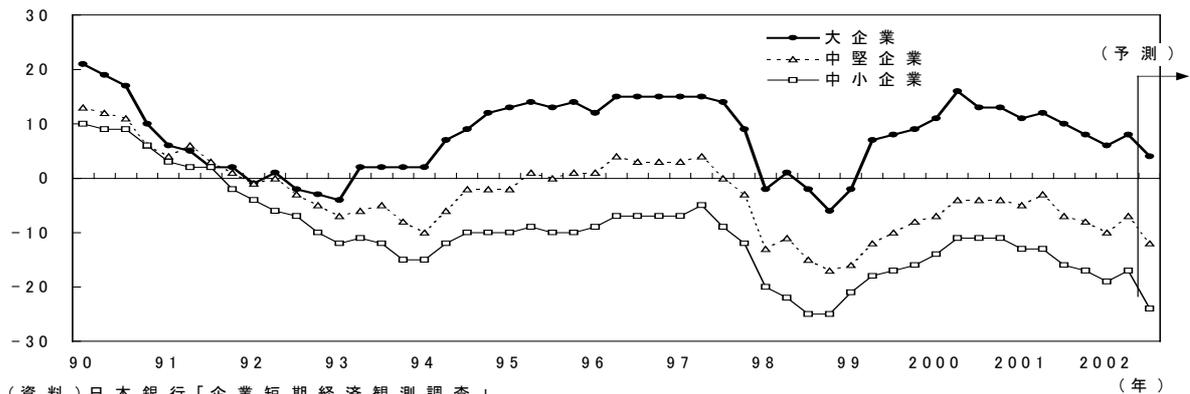
(注)修正率は、前回調査との対比。

### 企業金融

金融政策は大幅緩和を続けているものの、企業の資金繰りに対する先行き懸念は中小企業を中心に依然として根強い。資金繰り判断、金融機関の貸出態度判断共にわずかながら改善傾向にあるが、大企業に比べて中小企業の判断が厳しく、先行きに対する懸念が依然残っている。

### 資金繰り判断(全産業)

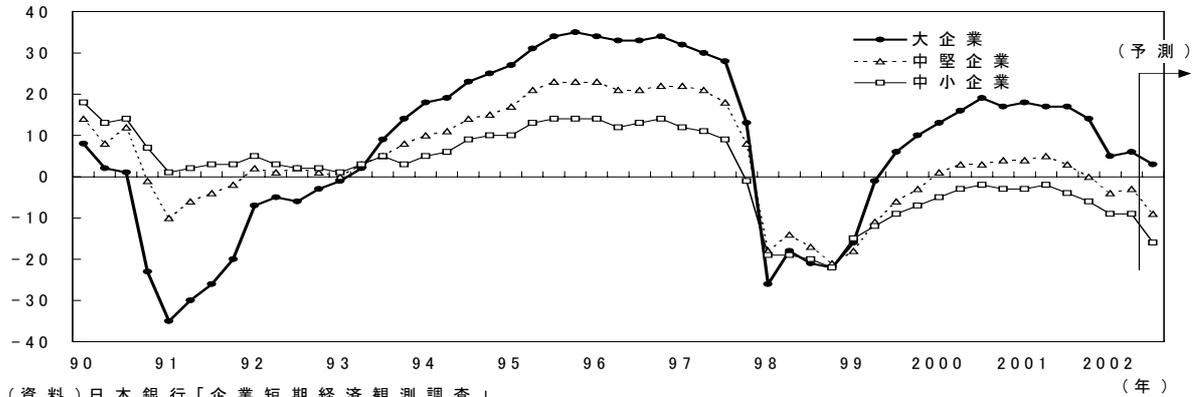
(「楽である」-「苦しい」・%ポイント)



3月調査で12月調査から1ポイントの悪化となった資金繰り判断DIは全規模合計で10(3月調査11)と1ポイントマイナス幅が縮小した。しかし、先行きについては16と悪化が見込まれており、企業の資金繰りについての先行き懸念は依然根強く残っている。

### 貸出態度判断(全産業)

(「緩い」-「厳しい」・%ポイント)



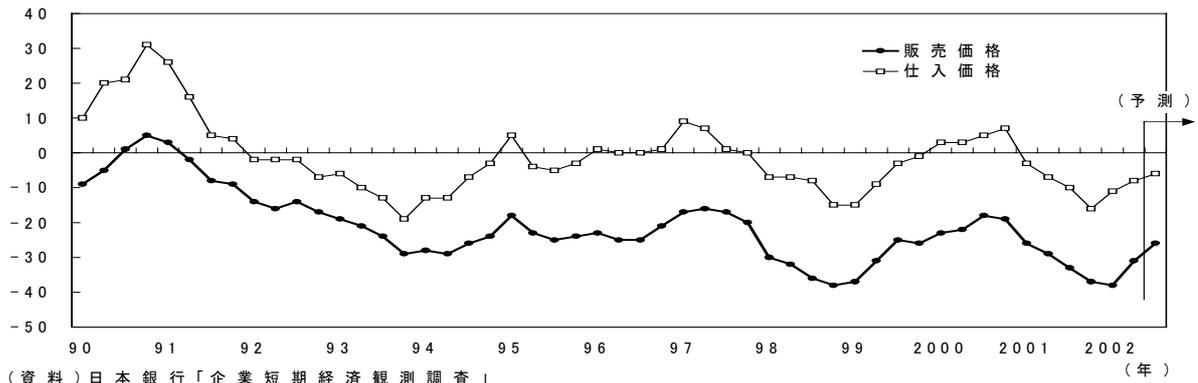
貸出態度判断DIも最近については、全規模合計で 4(3月調査 5)と改善したが、先行きについては、 11 と悪化が見込まれている。

### 価格判断

大企業・製造業の仕入価格判断DIは 8(3月調査 11)、販売価格は 31(3月調査 38)と先行きも価格の下落基調が続く見通しとなっているが、仕入れ価格、販売価格とも判断のマイナス幅が縮小している。中小企業・製造業でも価格判断のマイナス幅の縮小が見られ、価格の下落基調は続くものの、下落速度が緩和する期待が見える。

### 販売・仕入価格判断DI(大企業・製造業)

(「上昇」-「下降」・%ポイント)



(お願い)本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものでもありません。

(Copyright ニッセイ基礎研究所 禁転載)